

日本語ウォッチング

ひところ、「それでえ、あたしがあ、言ったらア」と表記されるようなしゃ
べり方が耳についた。文節の最後を急にあげたあと下げる。記録によると、
1970年代に発生し、今はさして若くない女性にまでも広がっている。

あちこちで話題になったのに、名前はまだ確定していない。語尾を上げ、伸
ばすところに着目して「語尾上げ語尾伸ばし」という人もいる。「尻上がり
イントネーション」と言うこともある。

ちゅうりやく
(中略)

なおこのイントネーションについては、全国的実地調査の結果や年齢別
の調査結果はお目にかけにくい。自分で使っているのに、気づかない、そ
れと意識しない(できない)人がいるからである。全国102の中学校あて
にカセットテープを送って再生してもらい、自分で使うか、耳にするかを
記入してもらった結果では、関東に使用者が多くて、関西は少ないという
地域差が出た。しかし関西をとびこえて中国地方には普及しているなど、
きれいに説明しにくい分布を示す。一方、テレビで関西の女性が使うのを
耳にすることもある。東京付近から広がったことは確かだが、現在の使用
状況の地域差は把握しにくい。

このイントネーションを使った実例を集めて、使っていない例を混ぜて

とうきょう がくせい き かん きにゆう とちぎ いばらぎ
東京の学生に聞かせて感じを記入してもらったところ、栃木・茨木あた

としよ つか くちょう べつ いんしょう あた つか
りの年寄りの使う口調とはまったく別の印象を与え、使ったときには、

あま いがい かん あた
「かわいい」「甘えている」など以外に「おしつけがましい」などの感じを与

わ はな かた き じっけん
えると分かった。さらに、いろいろな話し方を聞かせて実験してみると、こ

つか じっさい わか き
のイントネーションを使うと実際より若く聞こえる。

ろくが かいわ き て れい おお
また録画した会話をみると、聞き手がうなずく例が多い。「エー」「ウン」

う あいて はな わ じつれい こうこう
などのあいづちも打つ。また相手が話しに割りこむことはない（実例は高校

せい とうろんばんぐみ しかいしゃ わ れい じぶん はな つづ
生の討論番組で司会者が割りこんだ例だけだった）。自分の話しを続ける

ゆうこう しゅだん
ために有効な手段といえる。

わる いんしょう あた げんいん あいて わ ゆる
ただこれは悪い印象を与える原因にもなる。相手の割りこみを許さない

にほん めうえ ひと あいて はな わ けんり ぼう
のだが、日本では、目上の人相手の話しに割りこむ権利をもつ。それを妨

がい こういでき う と お
害するわけだから、このイントネーションが好意的に受け取られず、押しつ
けがましくひびくのだ。